



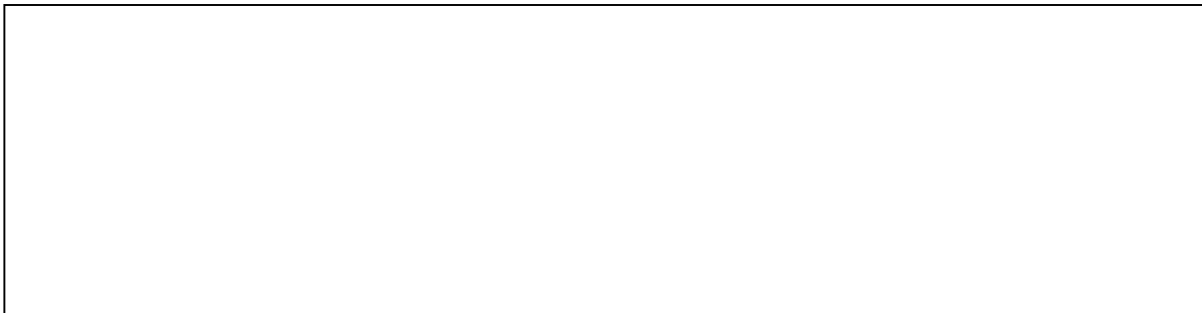
図書室電算化への書店の提案 11

緊急雇用創出事業基金の対する提案書

その他の提案書

- ・ 全校電算化への教育委員会への提案書
- ・ 市町村図書室への提案例
- ・ 専門図書館電算化への提案例
- ・ 学校統合への提案例
- ・ 光をそそぐ交付金への提案

有限会社
コンピュータハウス ナノビット
北九州市小倉北区常盤町7-25 205
電話番号 093(513)8501 T502-0035
e-mail : takasaki@nanobit.co.jp



緊急雇用創出事業交付金 で図書室蔵書登録を受託したもの

7/27日 署名,
9/3 日 印

収入印紙
200円

福岡県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業
教育センター図書情報整備業務委託契約書

久留米市（以下「甲」という。）と福岡県書店商業組合（以下「乙」という。）とは、業務の委託について次のとおり契約を締結する。

（委託業務）
第1条 甲は、福岡県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業として行われる図書整備業務（以下「委託業務」という。）を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（委託の要項）
第2条 この契約の要項については、次のとおりとする。
（1）委託業務 図書情報整備
（2）委託金額 1,000,000円（千円）
（3）契約期間 平成15年7月7日から平成16年1月31日まで
（4）業務仕様 別紙
（契約保証金）
第3条 契約保証金は、久留米市（以下「甲」という。）と福岡県書店商業組合（以下「乙」という。）とは、学校図書館データベース化業務の委託について、以下のとおり契約を締結する。

（業務処理方法）
第4条 乙は業務を甲に委託する。
（目的）
第1条 甲は乙に対し、別紙仕様書記載の学校図書館データベース化業務を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（雇用・就業者数等の）
第5条 乙は、次に定めない。
（委託期間）
第2条 業務の委託期間は、平成15年7月7日から平成16年1月31日までとする。

（委託料）
第3条 業務の委託料（以下「委託料」という。）は、〇〇,〇〇〇,〇〇〇円（うち消費税等※基本資金のほか、〇〇〇,〇〇〇円）とする。

（業務対象および回数）
第4条 業務の対象は、久留米市内全市立小・中学校40校とする。

（再委託の取扱い）
第5条 乙は、甲の承諾を事前を得ることにより、自己の責任と負担において業務の一部を第三者再委託する事が出来るものとする。ただし、これにより乙の甲に対する義務または責任が軽減または免除されるものではない。

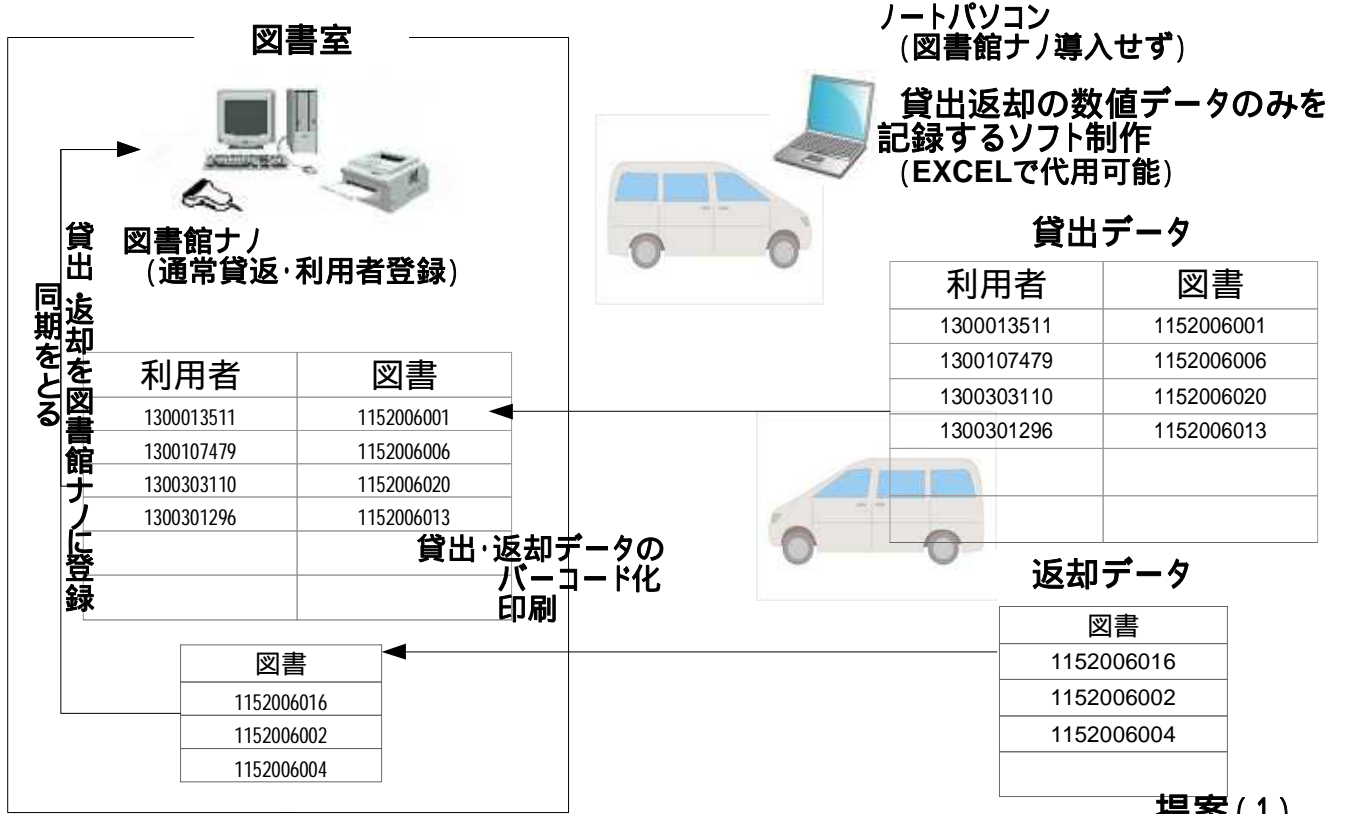
（失業者であることの）
第6条 乙は、労働者や失業者を雇用する旨を甲に認示しなければならない。
（実地調査等）
第6条 甲は、必要があると認めるときは、乙に対して業務の実施状況、委託料の用途その他必要事項について報告を求め、または実地に調査し、業務の処理について必要な指示を与えることができる。

（委託料の請求及び支払）
第7条 乙は、委託業務終了後、委託料を甲に請求する。甲は、請求を受けた日から30日以内に乙に委託料を支払わなければならない。ただし、乙は、業務委託終了前に、出来高部分に相当す請負代金相当額の10分の9以内の額について、部分払いを請求することができる。

（委託業務の変更）
第8条 甲は、必要があると認めるときは、委託業務を変更し、または一時中止させることができる。この場合において、委託料または委託期間を変更する場合は、甲乙協議して定める。

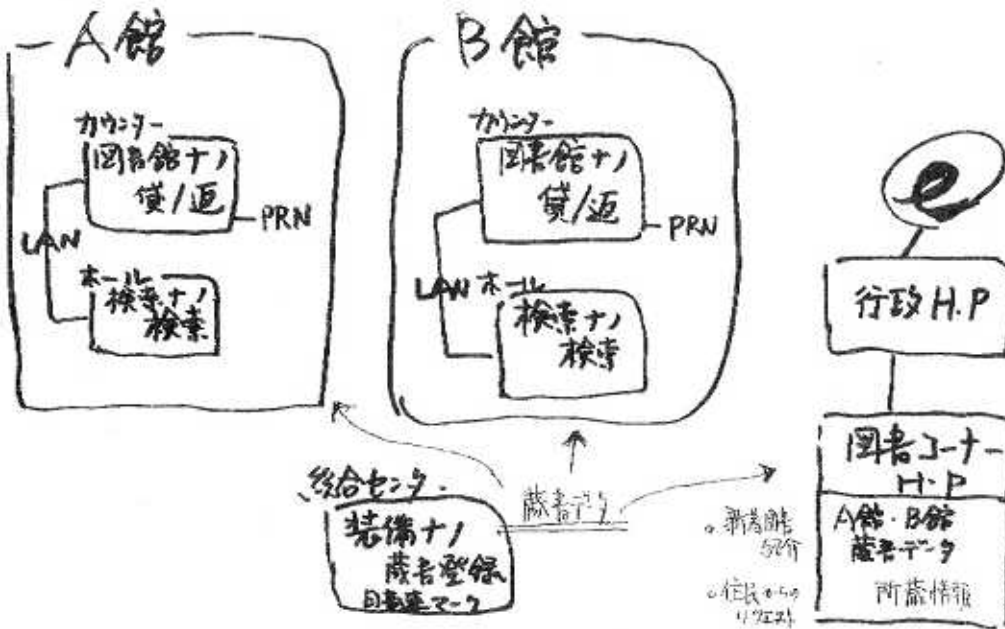
図書室・移動(自動車)図書室電算化提案

- ・図書室と自動車図書館を一括管理したい。
- ・出張所などでのネットワークは使用禁止。
- ・携帯電話などでのLANは費用が大きく現実的でない。



市町村統合した二つの図書室電算化提案

- ・A館B館とも図書データ (場所区分をするだけ。新刊もA館B館ともに登録)
- ・B館は県立図書館から3ヶ月単位で借りる図書があるが県立図書館バーコードで蔵書登録を行う。(県立図書館にデータ提供依頼) 3ヶ月後廃棄し行政HPの更新も行う。



- ◎ A館・B館は館内LANあり
インターネットや行政ネットワークに接続
→ セキュリティの問題
- ◎ 装備ナノの作業費が7万
A館・B館 両館にHPを送る
- ◎ B館は蔵書が不明なので県立から
3ヶ月単位で500~1000冊を借入
= 2ヶ月一回的に入力して貸出可能

総合センター
図書館整備事業

提案(2)

小学校・中学校統合図書室
 電算システム統合・
 引越・配架を一括請負の提案

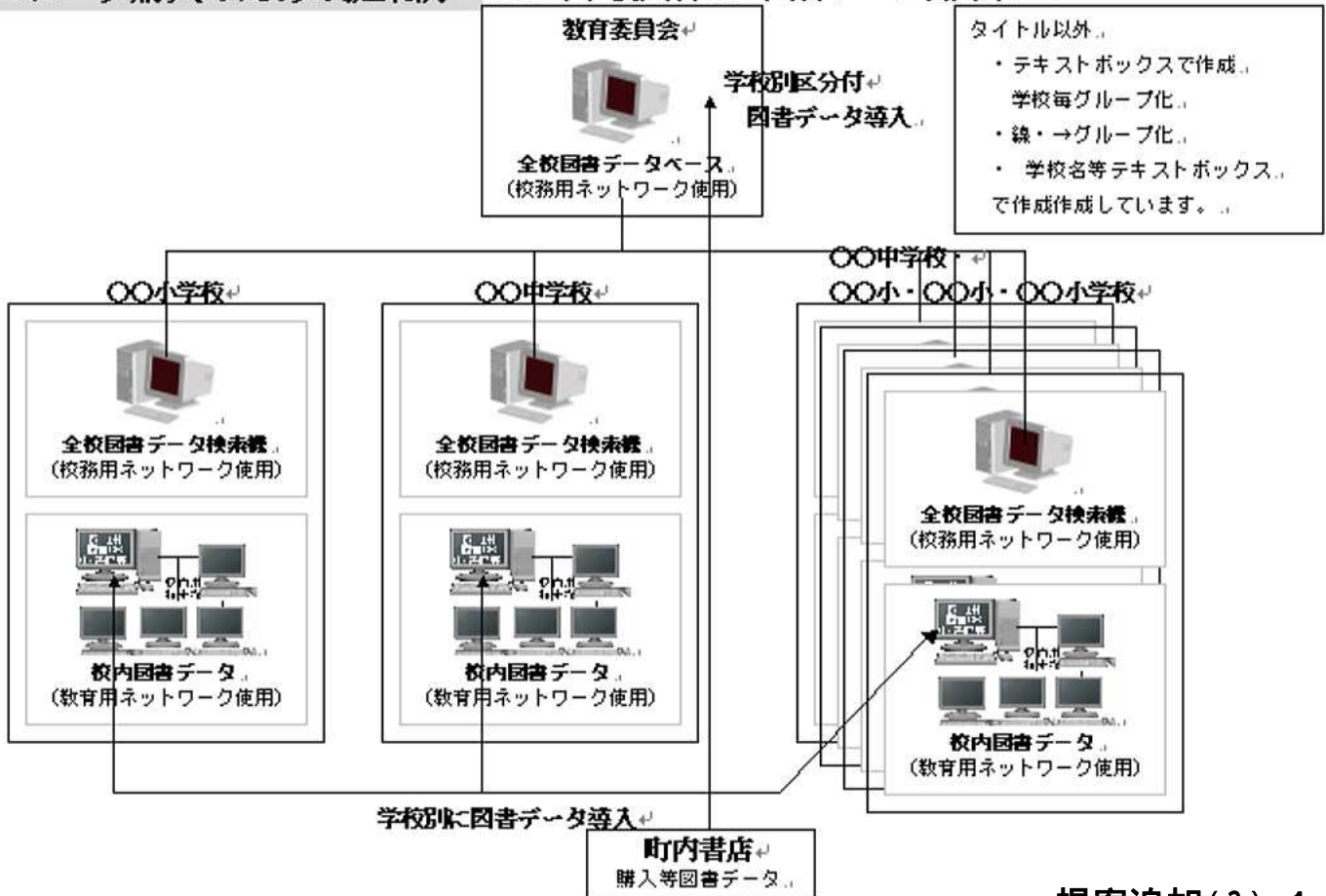
・当初電算システム統合のみ問合せであった。

図書の廃棄を伴うのもであるため 廃棄処理を伴う電算システム統合
 図書整理後 箱詰・引越し・配架と一連の流れと説明・提案したもの。



提案(3)

コンピュータ購入のための提案例 ○○町学校図書室 図書データ利用案



提案追加(3)+1

専門図書館 電算システム化 請負の提案 (1)

- ・教育センター(研究紀要など非売品の専門書)目次などのキーワードを登録。
- ・法律事務所(判例集などの専門書)目次の大項目・中項目・小項目を登録。

蔵書データ入力フォーム ※太枠のみデータ入力してください!
※データ入力の移動は、TABキーを使ってください!

バーコード	1E+08	ISBN		廃棄番号	<input type="checkbox"/>
書名	民事訴訟法判例百選 第4版				
フリガナ	民事訴訟法判例百選 タイ4版				
シリーズ名	別冊ジュリスト				
著者名					
著者名フリガナ					
金額		棚番号			
出版社	有斐閣				
出版年	2010				
サイズ	26cm				
ページ数	280p				
大項目	IV 訴え-(2)確認の利益				
中項目	遺言者生存中に提起された遺言無効確認の訴え 条件付法律関係の確認-敷金返還請求権の確認将来の法律関係の確認-雇用者たる地位の確認 債務不在確認訴訟の訴えの利益				

登録番号の設定

専用の登録用ソフト制作

提案(4)

専門図書館 電算システム化 請負の提案 (2)

委託見積書 冊数に対して登録人件費が高くなる。

委託料 積算見積書 蔵書冊数が4,000冊

項目	規格等	数量	単位	単価	金額
1 図書館ナノソフト代	1式	1	式	190,000	190,000
2 図書バーコード		4,000	枚	9	36,000
3 図書利用バーコード		100	枚	25	2,500
4 パウチフィルム		100	枚		0
5 パウチ用機器		1	個		0
6 管理用ノートパソコン	OS:Windows メモリー:2G以上 ディスプレイ:15型以上 ハードディスクドライブ:300GB以上 CPU:インテル Core 2 Duo プロセッサ一搭載程度 附属ソフト:Microsoft Office Personal 2007(Word Excel)	1	個	150,000	150,000
7 バーコードリーダー		2	個	21,000	42,000
8 登録人件費	日給×2人×99日(5ヶ月)	1	式	1,188,000	1,188,000
9 社会保険事業主負担金	健康保険料:標準報酬×4.1% 厚生年金保険料:標準報酬×7.675% 児童手当拠出金:標準報酬×0.13% 2人×99日(5ヶ月)	2	人	79,770	159,540
10 雇用保険料事業主負担分	人件費×0.7%	2	人	4,296	8,592
			計		1,776,632
			消費税		88,832
			合計		1,865,464

人件費が1,356,040円

提案(5)

緊急経済対策予算に対する学校図書室電算化の提案

予定した金額に対して、書店提案が、安かったために、全14校コンピュータ本体導入……等プラス、最終の金額は、4校 20,000冊の蔵書登録で5,547,000円となった。

見積書明細

①機器関係

区分	名称	数量	単位	単価	計	備考(明細等)
図書システム	図書館ナノ(LAN対応)	4	式	210,000	840,000	
コンピューター		14	台	105,000	1,470,000	メモリ2GB、HDD100GB、ドライブスルーパナルドライブ、OSWindows XP、ディスプレイ15型OAソフト Microsoft office 2007 (Word、Excel)
バーコードリーダー	テクニカルUSBパースキャン	4	台	21,000	84,000	レーザー式USB
USBメモリーハブ		4	台	1,575	6,300	2GB
プリンタ		4	台	31,500	126,000	
バーコードラベル(シール付)		20,000	枚	10	200,000	
貸出カード台紙(カードサイズ)(ハウチ加工)		300	枚	15	4,500	

②図書データ整備及び装備(バーコード貼付)作業 計20,000冊

(1) 図書の除籍作業の補助、②各図書への書誌データ付与(日書連マークに限る)、③各図書へのバーコード貼付装備、④データ整備完了図書のシステムへの登録

区分	品名	数量	単位	単価	計	備考(明細等)
図書データ整備及び装備(バーコード貼付)作業		20,000	式		2,800,000	(4校分)

③利用者登録作業

①利用者(学校生徒・先生)データ作成作業 × 4校分

区分	品名	数量	単位	単価	計	備考(明細等)
利用者データ作成作業		4	式	4,200	16,800	

合計 5,547,600

提案(6)

「書店が、図書納品時に日書連マーク提供・インストールなどを標準サービスとする。」との文書が全学校に配布された。

「図書館ナノ」システムメンテナンスについて

1学期に行った研修会で、最も多くの図書から課題として挙がったのが「図書館ナノ」のメンテナンスの件でした。教育委員会では、改めて、「図書館ナノ」の契約についての確認とメンテナンスについて、福岡県書店商業組合と話し合いの場を持ちました。それに先立ち、書店組合の方でも、久留米地区図書館ナノ対応書店を集めて話し合いを持っていただきました。

- 各学校の図書館ナノのメンテナンスは、久留米地区図書館ナノ対応書店が行う。
- (各書店にも図書館ナノについて、研修会等で勉強してもらいます)
- 各書店が対応できない場合には、その書店が福岡県書店商業組合に問い合わせをする。

以上に加え、メンテナンスについての不備は、かなり解消されるのではないかと見込みます。

「図書館ナノ」対応書店の標準サービス

- (1) ナノについての質問に答えること
- (2) ナノ操作についての一般的なサポート
- (3) 販売した図書のデータ提供
- (4) 図書データのインストール

2 バーコードリーダーに不具合について

- (1) まず、メンテナンスの一環として、問題箇所を特定し、簡単な掃除で機能回復する場合もある。
- (2) 修理はメーカーに依頼するので、修理代が1万円程度かかることを考慮して、修理が安い替えかを判断する。
- (3) 教育委員会 学務課 (tel 30-9217) が貸出し用のリーダーを1台、新品のリーダーを2台持っている。
- (4) 修理完了→学務課から借りたバーコードリーダーを、学務課に返却。
- (5) 新規購入→先に、学務課が持っている新品のバーコードリーダーを学校に渡すので、学校で購入後、購入したバーコードリーダーを学務課に返す。

3 パソコン・図書館ナノの不具合について

- (1) パソコン本体の不具合については、教育センター (tel 40-8123) に連絡する。
- (2) 教育センターから職員の手配、あるいは、業者へ依頼。
- (3) 図書館ナノの不具合については、教育委員会 学務課 (tel 30-9217) に連絡。
- (3) 図書館ナノの操作がわからない等の場合は、井上 (tel 30-9217) が各学校の取り纏

提案(7)